

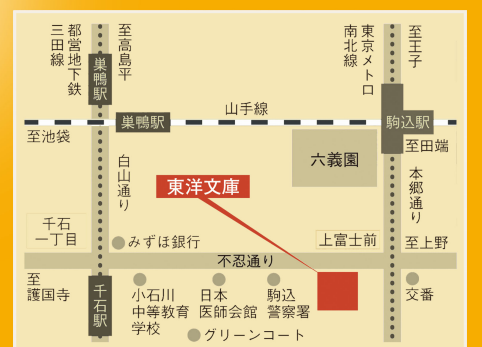
幕末展

会期: 2015年8月19日~12月27日



東洋文庫ミュージアム

〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-21 TEL: 03-3942-0280
 入館料 ◆900円(一般)・800円(シニア)・700円(大学生)・600円(中・高校生)・290円(小学生)
 アクセス ◆駒込駅 (JR山手線南口、東京メトロ南北線2番出口) 徒歩8分、
 千石駅 (都営地下鉄三田線A4番出口) 徒歩7分
 開館時間 ◆ 10:00~19:00 ※入館は閉館の30分前まで
 休館日 ◆ 毎週火曜日(ただし火曜日が祝日の場合は次の平日)



松陰、龍馬も読んだ、衝撃の書物とは？

1853年、ペリー率いるアメリカ艦隊が浦賀に来航し、日本に開国をせまりました。これをきっかけとして国内では攘夷と開国、倒幕と佐幕をめぐる対立が激化し、動乱の時代「幕末」へと突入します。旧体制の存続によって国を守ろうとする人、大きな変革によって新しい時代の扉を開こうとする人。それぞれが激動の時代のなかで国を思い奔走しました。その姿は今なお私たちに魅了します。

本展では、アヘン戦争、黒船来航、吉田松陰、坂本龍馬、勝海舟、西郷隆盛など、誰もが知る出来事や人物ゆかりの史料をとおして、幕末史をご紹介します。歴史小説や時代劇でお馴染みの「あの場面」は、どのように記録され伝えられたのでしょうか。幕末の英雄たちはどのような情報源から世界を知り、日本の未来を考えたのでしょうか。東洋文庫が所蔵する選りすぐりの史料から、胸を熱くする幕末史の魅力を再発見していきましょう！



大清帝国VS大英帝国—教科書でもおなじみの作品
『アヘン戦争図』 E.ダンカン画 1843年



ペリー来航時の様子を記録した絵巻物
『ペリー久里浜上陸図』 1853年頃



幕末の大事件！大老・井伊直弼暗殺
『桜田門外襲撃之図』(部分) 月岡芳年画 1874年



龍馬の志を受け継いだ海援隊出版の英語教本
『和英通韻以呂波便覧』 1868年



『安政の五ヶ国条約』 1859年刊

◆講演会・ワークショップの開催情報は、決定次第ホームページにてお知らせいたします。

同時開催：記録された記憶—東洋文庫の書物からひもとく世界の歴史

甲骨文字からフランス革命まで、時空をこえた壮大な歴史の流れを、国宝・重文をはじめとする東洋文庫の名品によってたどります。「これ教科書で見た！」という記録を目の前にする驚きと感動をぜひ体験してください。



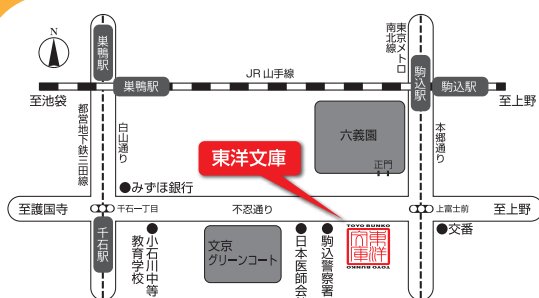
『甲骨卜辞片』 紀元前14～前11世紀



『解体新書』 1774年頃



『マカートニーを謁見する乾隆帝』 1792年



交通案内：
駒込駅 (JR山手線南口、東京メトロ南北線2番出口) 徒歩8分
千石駅 (都営地下鉄三田線A4番出口) 徒歩7分

東洋文庫

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-28-21
TEL : 03-3942-0280
<http://www.toyo-bunko.or.jp/museum/>

◆あわせてご利用ください

- *ミュージアムショップ
「マルコ・ポーロ」
(10:00～19:00)
- *レストラン
「オリент・カフェ」
(11:30～21:30)